

安全・簡単・低コスト!

フィルムで被覆をする前に
深さ20cmのところに
水分があるかを
確認して下さい。

コフナと有機質(堆肥等)を散布し、耕耘。

1

元肥を投入する場合は
有機質肥料を中心に
するといいですよ。



ハウス (例)

- コフナ……15~30袋/10a
- 堆肥……1~2t

露地 (例)

- コフナ……10~20袋/10a
- 堆肥……1~2t

● 茎葉を徒長させないために良質な有機炭素資材を活用します。

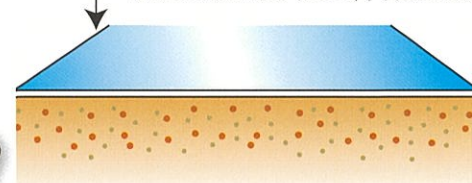
散水・被覆

2

乾燥状態で被覆すると
深い場所の地温が
上がりにくく効果が
少ないですよ。



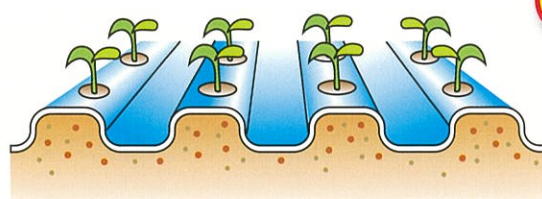
0.02mm以上のフィルム(中古品でよい)



- 土壌水分は50~60%。握ると水が出るくらいが目安。
- 被覆後、30日以上処理が目安。
- うねを立てた場合より平らのほうが温度が上がりやすいです。

定植・播種

3



善玉菌の密度が高い クリーンな活力ある土

地温・水分の確認を行い、
定植・播種して下さい。



● 処理後の耕耘は最小限にし、あまり土を動かさないようにして下さい。

ニチモウ株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-20

TEL.03-3458-4369

FAX.03-3458-4329

URL: <http://www.nichimo.co.jp/>

<http://www.cofuna.jp/>

E-mail: info@cofuna.jp

● お問い合わせ



微生物の力で土づくり

コフナ・ソーラー法

太陽熱による
地温上昇

土壌還元状態

有機物・残根の
分解促進

コフナの微生物の
特徴を利用した
地力の回復・レベルアップ方法!

発酵熱による
地温上昇

微生物による
土壌改良

ニチモウ株式会社

コフナ・ソーラー法は「太陽熱消毒法」 安定した土づくりを実現します。

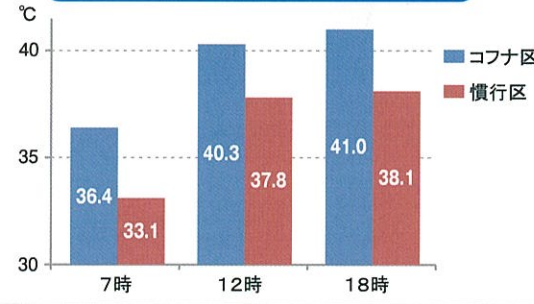
に「コフナ」を加えて、



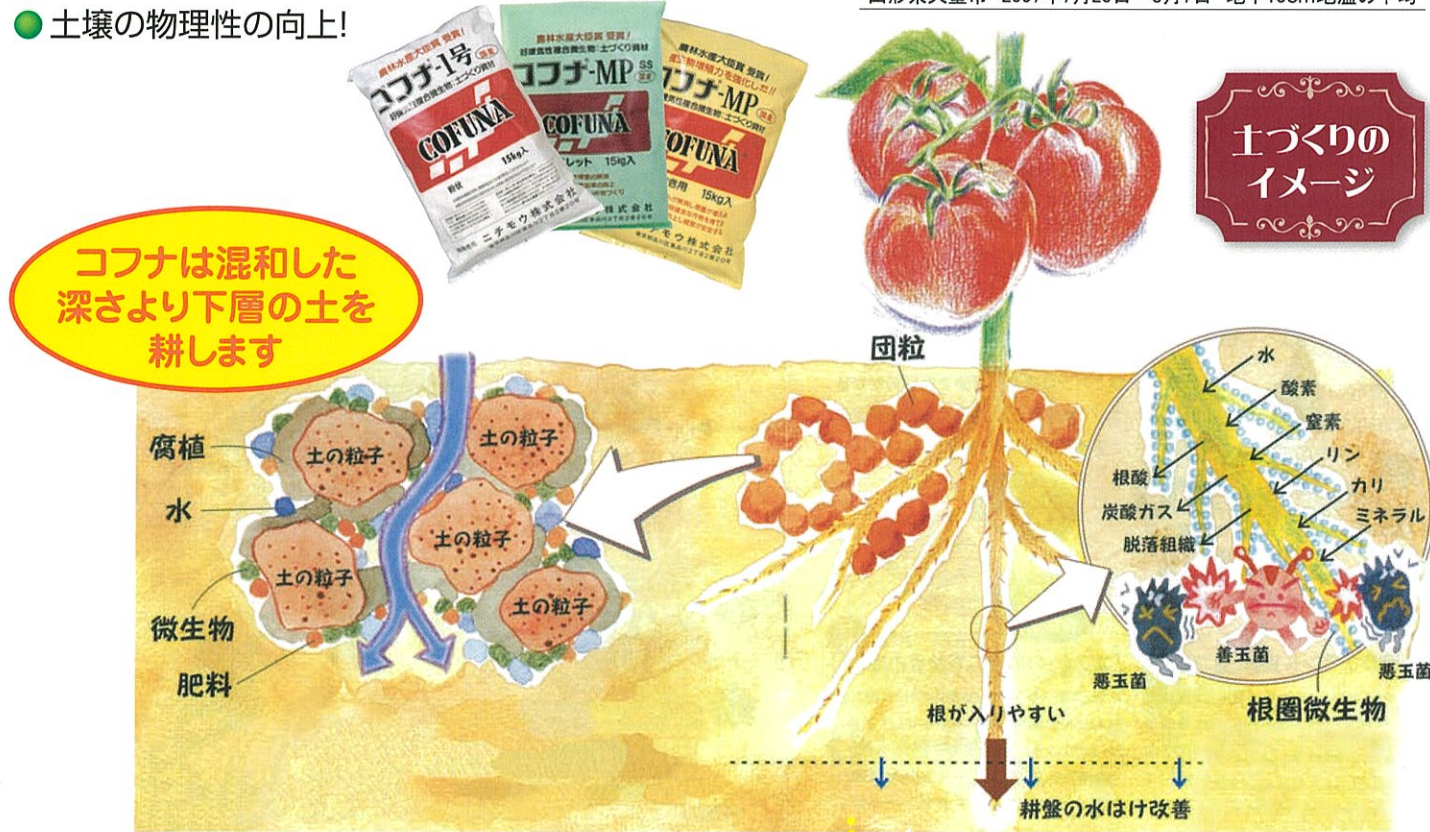
コフナ・ソーラー法の特徴・効果

- 太陽熱と発酵熱の2つの熱で地温を上げる。
- 夜間の地温が高く安定する!
深層まで温度が上がりやすい!
- 残根・残さ・未熟有機物を分解し、腐植化する。
- 寄生する病原菌のエサを無くす! 土壌を団粒化!
- 処理後も、微生物は旺盛に繁殖し、微生物層を改善します。
あわせて発根を促進します。
- 土壌の物理性の向上!

コフナ・ソーラー法と慣行の
太陽熱消毒の地温の差



山形県天童市 2007年7月20日~8月7日 地下10cm地温の平均



コフナは混和した
深さより下層の土を
耕します

コフナ・ソーラー法のポイント

1 水分

最大のポイントは水分含有率で50~60%以上です。
“微生物を動かせる”“熱を伝える”為には水分が必要
です。始めに下層部まで水分を与えることにより、
最後まで水分を保持しやすくなります。

2 実施中の匂いについて

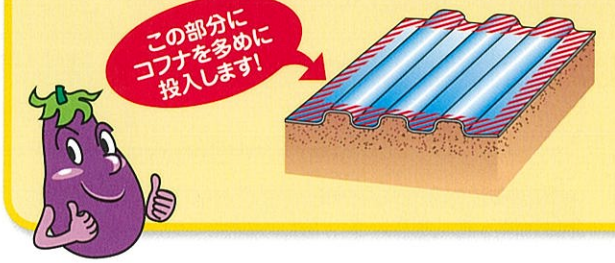
- どぶくさい匂いがする!
問題ありません。(水が少し多い)
- 味噌の匂いがする!
問題ありません。
- 匂いが全く無い!
再度、水分の調整が必要です。

3 温度管理

地表面を被覆するフィルムは必須となります。
施設内部の温度が50度を超えると設備が痛みますので、
その場合は、サイド等を開放してください。
又、地域により外張りフィルムがない場合でも可能な
場合もありますので、詳細はお問い合わせください。

4 フィルムの被覆外周の温度対策

水が抜けやすく、温度を外に奪われやすいため、**外周にコフナを多めに散布**ください。



5 同時に施用する資材

土づくりを行うためには**腐植が不可欠**になってきます。
易分解性有機物・腐植の基となる炭素質資材(植物の繊維)
など、複数の**有機物資材の併用**をおすすめします。

6 期間

微生物は十分な水分があれば**温度×期間×エサ**で
増加量が決まります。そのためコフナ・ソーラー法の実施
期間は、可能な限り長く取ることがポイントとなります。

善玉菌 悪玉菌



善玉菌を増やし、悪玉菌を減らす!

高温・嫌気状態に強い「コフナ」を使った「太陽熱消毒法」の効果です。

薬剤使用

善玉・悪玉菌共に減る

土壌病害の発生圃場

悪玉菌の密度が高い

コフナ・ソーラー法

善玉菌

40°Cでダウン

悪玉菌

善玉菌の密度が高い

高温になっても
コフナは
死滅しません!

コフナ